

学番	3	県立新潟南高等学校
----	---	-----------

令和6年度

学校自己評価表（計画）

学 校 運 営 計 画		
学 校 運 営 方 針	1 生徒がいきいきと学び、活動し、自分の良さを知る教育活動を行う。 2 失敗を恐れず果敢に挑戦し、粘り強く取り組む生徒を育てる。 3 広い視野をもち、協働的に課題解決に臨むコミュニケーション力を養う。 4 自己調整しながら自己実現に必要な学力を身につける、主体的な姿勢を育てる。 5 教職員が働きがいを感じる職場であるよう、業務の精選、環境の改善に取り組む。	
三つの方針(スクール・ポリシー)		
育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	①【探究する力】 ・自ら課題を見い出し、粘り強く挑戦する意欲 ・多角的な洞察力 ②【様々な分野、地域でリーダーとして活躍できる力】 ・実行力 ・自己の良さを知る ・他者への思いやり ・国際的視野 ・協働的に課題解決に臨むコミュニケーション力 ③【学びに向かう姿勢】 ・主体的に学び続ける姿勢 ・自己の目標を達成していくために必要な学力	
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	①【探究する力】学校独自設定科目や総合的な探究の時間等の実施 ・(1学年)「江風SSⅠ」「江風探究ユニット」で探究学習の手法を学ぶ。 ・(2学年)「江風SSⅡ」「江風SSG」で自ら課題を見いだし、探究活動を行う。 ・(3学年)「江風SSⅢ」や課題研究発表会で探究学習成果を発表する。 ②【様々な分野、地域でリーダーとして活躍できる力】 ・(江風グローバル研修) 海外高校との共同研究やオンライン研修により、コミュニケーション力や国際的視野を身に付ける。 ・(成果発表会) 校内外の発表会で研究成果を発表し、自己の良さを見いだす。 ・(学校行事等) すべての教育活動で、他者を尊重し、協働的に活動する人間性を養う。 ③【学びに向かう姿勢】 ・(教育課程)進路実現に必要な教科・科目を配置し、教育課程の実施と改善を行う。 ・(授業実践)各教科の見方・考え方を働かせて、知識・技能を活用し、表現する活動を実施する。 ・(学習支援)自己に必要な学習を考え、主体的に取り組むことを支援する。	
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	①未知の事柄に関心をもち、主体的に学習や諸活動に取り組む生徒 ②高い志をもち、希望する進路実現に向け自ら励み研鑽する生徒 ③課題と正対し、解決に向けて失敗を恐れず果敢に挑戦する生徒 ④他者を尊重する精神をもち、協働して学び合える生徒	
昨年度の成果と課題	令和6年度の重点目標	具体的目標
○教務部 ・生徒がタブレット端末を活用し、主体的、対話的な授業が多くなった。 ○進路指導 ・国公立大(延べ296名、実人数232名 65.9%)	○進路意識の啓発と進路希望の実現 ○生徒の学力向上と学校の学習環境の整備充実をはかる	・生徒や保護者に対して進路情報を効果的に提供する。 ・ICTを活用した授業及び課題探究型・教科横断型授業の充実を図る。
	○基本的生活習慣の確立	・保護者と連携を密にして生徒理解に努め、きめ細かな指導体制の確立を図る。 ・正しい身だしなみや挨拶の習慣を身につける。

・難関大学(17名、4.8%) 学習への主体性を高める指導を工夫したことで5教科を最後まで諦めず取り組んだ成果である。 ○SSH総務部 ・台湾の高校との交流会を企画・運営した。江風グローバル研修においてJICA研究員の協力を得て、事業の開発・研究を行った。 ○生徒指導 ・個々の生徒への対応(姿勢・技術)や組織的な対応力の向上が図られた。 〈課題〉 ・精選した教育計画の作成 ・主体的に学習に取り組む姿勢の醸成 ・大学入試共通テストにおける「情報」への対応 ・交通安全指導の徹底 ・SSH5期申請		・自転車運転マナーを遵守させ、交通事故ゼロを目指す。
	○生徒の学力向上	・家庭学習時間の確保(学年+2時間)。 ・探究心や職業観を育成し、自ら考え、自ら学ぶ姿勢を養う。 ・年間をとおして継続的に個別面談を行い、学習状況を把握する。
	○進路希望の実現	・「探究力」を身に付けるための課題研究充実と評価手法の検討を行う。 ・これまで培った研究成果等の情報公開と成果の普及を行う。
	○SSH事業の推進	・生徒の悩みの軽減や解決を図り、充実した学校生活に導く。 ・教職員研修により、いじめ対応に係る資質や能力の向上を図る。 ・いじめの早期発見と、生徒の心のケアを組織的に行う。
	○生徒に寄り添った支援	
	○いじめ事象への適切な対応	
	○ワークライフバランスの意識向上	・ワークライフバランスの観点から「時間外の勤務時間を1ヶ月45時間以内」、「時間外の勤務時間を1年間360時間以内」にすることを目標とする。

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
進路意識の啓発と進路希望の実現 主体的な学びと課題解決能力の育成	進路情報の提供	個人面談、学年PTAの実施、進路だより、学年だよりの発行を通して、生徒や保護者に対して進路情報を効果的に提供する。			
	探究心や職業観の育成	大学・職場訪問、大学講義体験、修学旅行、進路講演会やLHRの中での活動を通して、探究心や職業観を育成し、自ら考え、自ら学ぶ姿勢を養う			
	探究活動とおとした課題解決能力の育成	進路指導を探究的な学習と関連させ、LHRも活用しながら進路探究活動を進める。			
	粘り強く考える態度と、自ら学ぶに向かう姿勢の涵養	積極的に授業に参加させ、粘り強く考える態度と確かな知性を育成する。進路実現とその先にある将来について考えることを通し、自ら学びに向かう姿勢を涵養する。			
基本的生活習慣の確立	服装指導	スカート丈の指導に加え、リボンの正しい着用を徹底する。積極的に声がけを行い、挨拶を励行する。			
	交通安全	年度当初に学年やクラスで交通安全指導を行い、交通事故防止への意識を高める。また、各学期に通学路にて交通安全指導を行う。			
	保護者との連携	学校と保護者との連携を密にして生徒理解に努め、きめ細かな指導体制の確立を図る。			
	心のケア	職員研修等を通じ、悩みを抱えている生徒への理解を深めるとともに、生徒が安心して相談できる環境づくりや関係性の構築を目指す。			
学力向上	学習習慣の確立	課題を厳選し、個別の学習に取り組む時間を確保する。家庭学習時間(学年+2時間)を確保することにより基礎学力を定着させる。			

進路志望の実現	ICTを活用した授業	教員研修を行い、ICTスキルの向上を図る。授業内容の充実と教科指導力の向上に努め、課題探究型、教科横断型授業の充実を図る。			
SSH事業の推進	「探究力」を身に付けるための課題研究の充実	主体的な課題発見能力・課題解決能力を育成するため、課題研究を軸としたSSH事業及び学校設定科目の開発と研究を行う。ルーブリックの改訂と使用法の検討を行う。			
	江風グローバル研修プロジェクトの推進	海外交流を通して諸外国との継続的な科学交流を進めることにより未来を担う科学技術系グローバル人材を育成する事業の開発・研究を行う。			
	情報公開と成果の普及	課題研究発表、noteやホームページへの事業内容報告や開発した教材の掲載、研究会や学会での発表により、研究成果の普及を図る。			
いじめ防止対策	いじめの早期発見と、生徒の心のケア	スクールカウンセラー、サポートルームの周知と適切な利用促進。 関係各所との緊密な連携を行う。			
	いじめ事象への適切な対応	いじめ事象が発生した場合、管理職への報告、関係生徒からの聞き取り、及び指導、保護者への説明等を学校全体で組織的に対応する。			
管理運営	ワークライフバランスの意識向上	・ICTを活用し、業務の軽減・効率化を図り、一層の働き方改革を実践する。また、業務及び行事の精選について提案・協議を積極的に行う。			
		・産業医の職場巡視を年に6回以上実施し、産業医の意見を参考に、安全衛生委員会において、職場環境改善の提案・協議を行う。			
成果			総合評価		